

KANNONZAKA
DOPPO

*
KANAMI
HIFUMI

Handwritten Japanese text overlaid on the character's purple clothing:

これと
12月2日
12月3日
12月18日



注意

過去の捏造表現あり

軽度の流血表現あり

19~21巻 辺りのスガ馬川染み



俺には幼馴染が
いる



俺には 女に
壊された
幼馴染がいる



ひふみ

独歩ちゃん

オハハ

入るぞ

来てたん?



連絡
入れてたんだが。

おいさま
しまま

携帯見る気
しなくて放置
してたわ。

いんま

いや……

というか風呂、
入れたんだな。



今日なんか
入る気力あって、

ちよつとずつ
良くなってるの
かもしんない!

おんま

おんま

オハ……



全部出せ。

ひふみ...

ん...

なんでだよ...ツ



きよ、

は、

調子いらって、

思っ
たの
に…



頑張ってる。

お前は強いよ。

は

は

よ

よ



おい
大丈夫か。

怪我は…

はあ

はあ

はあ

はあ

ぐん
ぐん
ぐん

ああああああ

やだっ

やだあつ

母さんに
会いたい、

姉ちゃんに
会いたいよお

うわー
うわー



終わったぞ。

おら、

.....

おら

絆創膏



ありがとう.....

もう二度とお前の手当てなんかしないからな...!!

不器用

聞いてるのかひふみ...!!



おら





独歩、
出ていくの
早えの？

いつも
よりは...

俺明日
一限ある。

夜遅いし、



は
は
は

もう、
寝よう。



今日、
泊まって
かない？

独歩...

...

犬の耳が
見える...

しゅん...



...

お願い...



やっぱ一人だと、

怖い夢見て、

寝れない
...

...

俺が寝れるなら
なんでもいいぞ。

コ
コ
コ
コ
コ

俺が
寝れるなら。

ほっ

寝れるなら……

ね、寝れねえ——

どんな距離感で
寝てんだコイツは

逆になんで
コイツはこの
距離感で
寝れるんだ

イラァ……



同じ部屋の子の
いびきが怖いから
一緒に寝ていい？

うんうん...

布いの
いじょうなわか...

おとななメモリー
~in-臨海学校~



ドキ

ぐら...

ドキ

ダメだダメだ...
不純な考えが
頭を過って

でももう
あの頃とは
違うよなあ...

んお...

変な気でも
起こしそうだ...



うう...

う...

.....

コイツには、
助けてくれる
家族はもう
いない。

魔されて、怯えて
生きていかなきゃ
いけないんだ。

俺と一緒に
寝ることで安心
できるなら、

一緒に寝て
やることくらい、
どうってこと
ないだろ。

なんか
ごめんな！

でも
めーっちゃ良く
寝れたんよね！

あんな
狭いベッドで
二人で寝かして、

俺っち寝相
悪かった？

1. / END





距離感にも
慣れつつある

身動き一つで
ドキドキしている
自分はいるが...

こいつの寝顔も
見慣れたし



まあ、

この所一二三の
発作も出てないし、

精神的には
悪くないのかも
しれない。



やばい



ふん

ふん...

うわっ
今は.....

そろそろ
家に帰らね
ば.....



んん...

ムラ...

ムラ...

ムラ
ムラ
ムラして
寝れ
ない

一週間ずっと
こいつんちに
居たから
抜くの忘れて
た.....



うん...
うん...

ムラ
ムラ



勃ってる...?

ヒクッ



そんなに
気になるなら
トイレで抜いて
くるから……

どいてくれ。



どっぼちゃん
勃ってるよ？

知って
ますよ？

ざく



何言って
……



俺っちが
抜いて
やろっか？



ど

クウ

ズズ



抜いたげようと
思っで…

んや…



世界の
目撃力…

んや



んや…

んや



んや

んや

んや

んや

んや



イケそ？

いや、
まだどうにも...

ん...?

おいっ



歯が...
当たってる...

ひびき...ッ

ズキズキ



ごめん
どっぽ...

う...

頑張るから...

ごめん...

やめるって
言わないで...



ん...

ひふみ...

んん...

ろっぽお...

ぽた
ぽた

ぽた





俺っちじゃ

やっぱ、

ダメっぽい
…？



ひふみ、

もう、
いいよ…。



なん…

何も泣くこと
ないからお
…？

こんままじゃ
俺っち…

お前になんも
してやれないよ…

はあはあ…









お前のも...



俺っちは
いいよ...



そうか...?



おやすみ...





じゃあ、
こっちに帰るよ。

……



ん……
こっちに帰るよ



同居も
いいかもな……

ドキ

ドキ

はあ……

2.5 / END



いってきます！
いってきます！
いってきます！

※エコー

いってきます。

ア
ン



嫌だあああ
ああああ!!!!

3.

ここ最近
調子良かったから
油断してた...

助け...

助け...

おん...!!

おん...!!

おん...!!

おん...

姉ちゃん...ツ

おん...

おん...

母あさん...ツ



おん...!!

置いてかないで...

どこいったんだよ...

一人にしないで...ツ

おん...!!

おん...



ごうぼう
...

どこにも
いかないで...

うわ
うわ

うわ
うわ



んん...ッ

はっ

ひふみ...

ん...

はっ

はあ...

はっ

はっ

ん

ん

ん



涙も舐めとって

どっほ……

ナギ

どっほ……



隅々まで
キスをして

少しずし、

傷口に
注ぎ込んで

いつか
塞がるよ……。

どっほ……

この感情は
果たして
友愛なのか？

可哀想で、
寂しくて、

愛しくて
堪らない。

お前の母さんや
姉さんの分まで
たくさん、

たくさんお前を
愛すから

お前を世界一大切に
思っている男が
ここにいるんだ

ひみみ

俺だけは何があっても
お前を一人にしない

もう、俺だけで
いいだろ。

やって
しまった……

この感情は
何なんだ。



お前が
作ったのか？

はえ~~~~~

.....?

はっ

ホカ
ホカ

ちやっちやと食べて
大学行ってこい！

~~~~~

料理が趣味と  
聞いていたが  
ここまでとは  
.....

一限だろ？

~~~~~





もう普通に
同居したい……

独歩とえっち
してから、

俺っち、
ちよーち
寝つき
良いんだよねえ

俺っち
オナニーすんのも
ちんちん
使えねえから、

はあはあ
あ

何を言ひ出すかと
思えば……

なあ〜
良いだろお？

かぼっ

ずーっと
どうしようか
モヤモヤしてだし、

減るもんじゃ
ねえんだからあ〜

独歩ちんだって
俺っちちんちん
気持ち良かったらあ？

俺っち
あれじゃねえと
もうイケねえもん。

くち

くち

くち

おんせきおんせき
おんせきおんせき
おんせきおんせき
おんせきおんせき



いやだあッ

あッ

あッ

もお……ッ
やめて……ッ

やめてよ
どっぽお
……ッ

酷くしない
から、

いやいや
しないで。

やあッ

ひふみ

もうやだあ
……ッ





また...ッ

うう...ッ

ん...ッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

キキキキ
キキキキ
キキキキ



ひびみに
求められるように
なってるから

男同士のやり方を
勉強した。

そっち使うの
やなのにい...

また
トロロ...

すまん...

ん...ッ

もう
痛いとか、
辛いとか、
教えたくないから。



もうちょっと
慣らすぞ

やだっっっ
やだっっっ
っっ

はぁ



ぱん

ぱん
ぱん
ぱん

ぱん
ぱん
ぱん

あ...

っっ



あ

は

あ

あ

は

はぁ...



ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

あ...

ぱん
ぱん
ぱん

ぱん
ぱん
ぱん

ぱん
ぱん
ぱん

あ...



もうやだあ
……

……
挿れるよお

はっ はっ はっ
はっ



ほら、
息吐け。

まったく……
しょうが
ないな……

おは
あぁ
あぁ
あぁ
……
♡
はっ

……
ッ

はっ
はっ
はっ



あうッ

うっ♡

んっ

はっ

はっ

アイツ

アイツ

アイツ

アイツ



あっ

おっ

おっ

おっ

おっ

まっッ

おっ

おっ

んうっ...



全部揺すられて
頭がクラクラする

早く、早く
俺たちの全部を
独歩にあげちゃいたい

んうっ

どっほ

俺っちなね、

いつか独歩と溶けて
無くなっちゃいた
って思うんだ。

何、
言ってるんだ。

独歩さえいれば、
俺っち、

もう何にも
いらないうって、

いっぱい

独歩と
えっちしてると、

すっげえ俺っちの
痛いところに、

あつたかいのが
流れてきて、

それで、
もうどうでも
よくなるの。

どっほ



んああッ

愛してる。

俺も、
お前だけだよ。



一緒に。

ドロドロに
溶けて、
一緒にたに
なって、





ううん。

好きな方に
帰ったんでいいよ。

サンキューな。

今日も、
こっちに帰ろうか？

一三三の精神が
安定しだしてから、

俺に帰って
くることを
強請らなくなった。

もう俺は
必要なくなった
のだろうか。

この、六畳に
閉じ込めて、

俺だけのものに
できたらと、

外に出ることを
禁じて、

お前には俺だけだと、
何度も何度も
教え込んでしまいたい。

でもそれじゃあ
あいつと回じだ

支配欲、独占欲が
俺の中にも
あったのだと自覚する。



やっと依存
してくれたんだ。

良かったわねえ。



家族もいない、
世の中の半分が恐怖の
対象になっちゃった
一二三の頼れる人は、

大好きで
だーいすきな
独歩ちゃんだもんねえ。

あんな状態の
一二三を依存させるの
なんて、賢い
観音坂くんなら
かーんたんなんですよ。

いいなあ、
望ましいなあ。



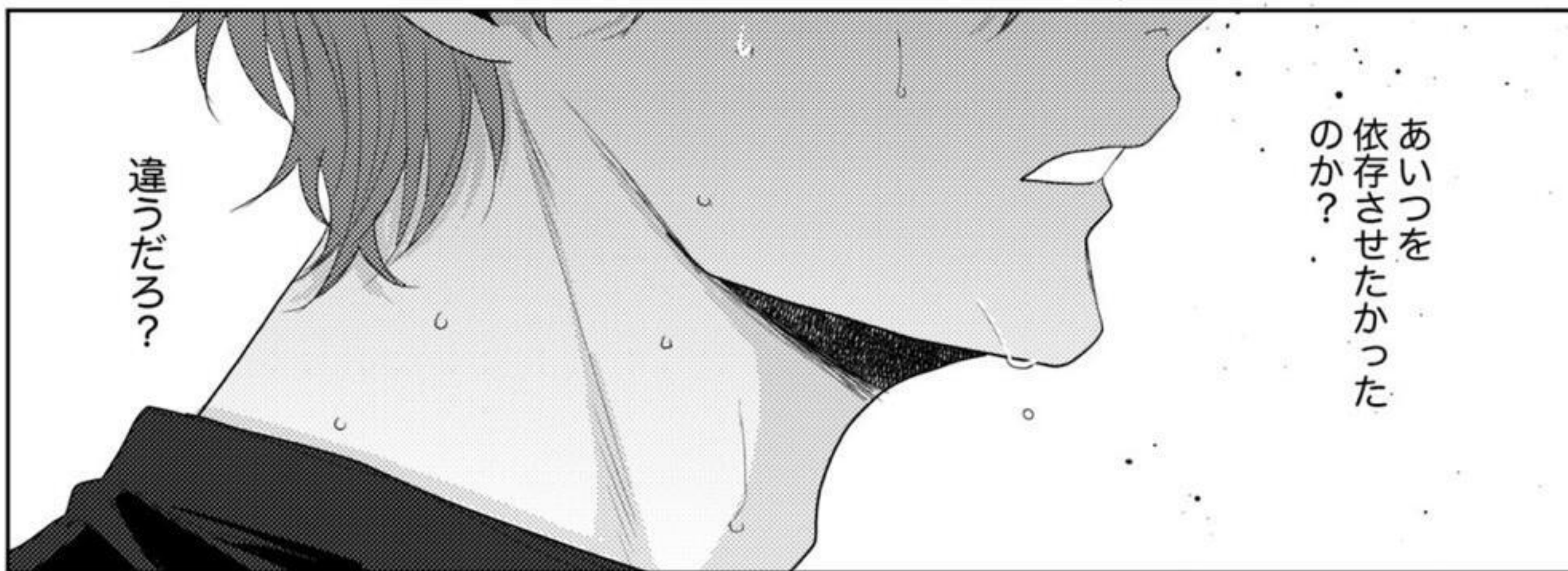
つまんな




一二三の味方は
私だけって、

ちゃんと
言ったのに

私の方には
全然懐かない
んだもん。





俺はあいつとは
ちがう。

…違うだろ

じゃあ一体、
この感情は
なんなんだ…。

お手に取って頂きありがとうございます。

はじめまして、ewoです。
ここまでお読み下さりありがとうございます。
言えぬすもたなと思っております。
でも満足です。

感想など
ありましたら... (泣)

おばけ素材ビニール / 系を

HYPNOSISMIC UNOFFICIAL FANBOOK #5

DOPPO×HIFUMI

2022/3/21

P:7101112

T:@ewo6_bewo

M:kihatusseiobake@gmail.com

printed STARBOOKS



△この本は個人の趣味により発行されたものです。原作会社様等の関係各社とは一切関係ありません。
△ネットオークションへの出品、無断転載・複写・複製等の行為を禁止します。



**HYPNOSISMIC
UNOFFICIAL
FAN BOOK
5**

KANNONZAKA
DOPPO

*
KANAMI
YUFUMI



Handwritten Japanese text in white ink on the purple hoodie:
これと
12月、おかし
12月と2月、3月
R18



**HYPNOSISMIC
UNOFFICIAL
FAN BOOK
#5**